

3月21日 磐田卓球場・アーチェリー場が完成 未来のオリンピック選手を目指せ！

スポーツを通じた新たな交流の拠点として、磐田かぶと塚公園テニスコート跡地に、磐田卓球場と磐田アーチェリー場が完成し、完成記念式典が行われました。

卓球場には卓球台12台が一列に常設され、エントランスにはリオオリンピックメダリストの水谷隼選手と伊藤美誠選手をたたえる展示コーナーを設置。両選手のラケットやシューズなどが展示されています。アーチェリー場には8つの的が並びナイター照明も整備され、夜間のプレーも可能となっています。

渡部市長は「さまざまなスポーツを通して、健康で暮らしやすい、笑顔あふれるまちになることを期待します」とあいさつしました。式典では両選手のビデオメッセージも披露され、水谷選手は「磐田に帰ったらぜひ利用したい」、伊藤選手は「多くの人に卓球を楽しんでほしい」とお祝いのメッセージを寄せました。

また、地元小学生が卓球場で始球式、中学生がアーチェリー場で始射式を行いました。



①始球式の様子
②始射式の様子。アーチェリー場は全長約75m、幅約20mの屋根付き施設
③展示コーナーには両選手の墨絵も展示

3月11日 第29回みんなで軽トラ市 いわた☆駅前楽市 いわたパンまつりを初開催



▲初開催のパンまつりは大人気

JR磐田駅北口広場とジュピロードで「第29回みんなで軽トラ市 いわた☆駅前楽市」が開催され、全国最大級106台の軽トラが集まり、農産物や雑貨、飲食物などが販売されました。

JR磐田駅北口広場では、市内のパン屋8店舗が自慢のパンを販売する「いわたパンまつり」が初めて開催され、開店から約1時間でほとんどの商品が完売するなど、多くの来場客で賑わいました。

3月25日 ふくっばに防球ネットが完成 ビーチサッカーをもっと楽しく



▲ふくっばで思いっきりプレーする選手たち

今年1月に福田漁港交流広場「ふくっば」に防球ネットが完成したことを記念して「第3回磐田わんぱくビーチサッカー大会」が開催されました。

大会に参加した児島周哉さん(東部小6年)は「練習でボールが飛んでいってしまうことがあったので助かります」と話しました。試合前にはビーチサッカーチーム・ヴィアティン三重の所属選手らによるビーチサッカークリニックも行われました。

写真が動く！
AR動画

ARのマークが付いた写真を専用のアプリを利用して撮影すると、あたかも紙面の写真が動いているかのように動画が再生されます。専用アプリ「ARラボ」は右記2次元バーコードからダウンロードできます。
※アプリのダウンロードや使用にかかる通信料は、利用者負担となります



[ios用]



[android用]

3月16日 ジュピロ磐田選手会から図書カード贈呈 選手から心の込めたプレゼント



▲村松教育長に図書カードを贈呈する櫻内選手（中央）と小川選手

ジュピロ磐田選手会の櫻内^{なぎさ}選手と小川^{たいき}選手が市役所を訪れ、市内小中学校に図書カードを贈呈しました。図書カードの贈呈は、市内小中学生の教育活動に役立ててほしいという思いから、平成26年度から継続して行われています。

選手会長の櫻内選手は「この図書カードを使って、小中学生にたくさん本を読んでもらえたらうれしいです」と話しました。

3月15日 児童が考案した学校マスコットが誕生 東部小に「東武将」参上!?



▲「東武将」にインタビューする児童たち

東部小学校の児童が考案したマスコットキャラクター「東武将」の誕生パーティーが行われました。

「東武将」の頭には富士山、両肩にはラグビーボール、腰には東部小で盛んに行われているタグラグビーのタグなどがデザインされています。全校児童の前に登場した「東武将」は、児童からインタビューを受けたり、歌をプレゼントされたりして大歓迎を受けました。

3月11日 竜洋体育センターでキンボール大会を開催 今話題のニュースポーツ



▲キンボールでいい汗を流しました

キンボールは4人1組の3チームが、直径約1.2mのボールを落とさないように打ち合うカナダ生まれのニュースポーツです。大会には小学生から大人まで、14チームが参加しました。

小学生の部で優勝した三ツ谷佳菜子さん、鈴木那衣姫さん、山下真央さん（磐田中部小6年）は「普段できないスポーツができてよかったです」と感想を話しました。

3月4日 2018 磐田市観光大使コンテスト 磐田の魅力をPRします



▲グランプリに選ばれた平松さん(左)と藤原さん

1年間市内外のイベントなどを通じて磐田の観光資源や魅力をPRする磐田市観光大使のコンテストがアピタ磐田店で行われ、平松^{ゆうか}優佳さんと藤原^{ゆい}由衣さんが、新観光大使に選ばれました。

平松さんは「いろいろな人に応援していただいたので、恩返ししたいです」、藤原さんは「歴史的な建物や豊かな自然がたくさんあるので、その魅力を子どもたちに伝えたいです」と意気込みを語りました。